

## 2018 年度前期「シラバス」

### ＜アジア共同体論特別講座＞

— 本講座は本大学が 2018 年度前期に「アジア共同体論特別講座」として編成した一般教養講座です。

— 本講座は 15 週、週 3 時間の授業に編成して、運用します。

— 講師は事情によって変動可能性があります。

#### — 講義の内容 —

1 週: オリエンテーション (3 月 8 日)

— アジア共同体論の可能性及び重要性について (講座の意義説明)

— 東洋哲学から考える東アジア

担当: 兪成善 (江原大学)

2 週 今、なぜアジア共同体なのか (3 月 15 日)

担当: 鄭俊坤 (ワンアジア財団研究員)

3 週: 東アジアにおける公共哲学の可能性 (3 月 22 日)

担当: 辛炫承 (尚志大学)

4 週: 韓国文化から自殺を考える (3 月 29 日)

担当: 劉禎恩 (江原大学)

5 週: 中央アジアとアジア (4 月 5 日)

担当: 李エレア (早稲田大学)

6 週: 申師任堂家の孝行観から考える東アジア (4 月 12 日)

担当: 兪成善 (江原大学)

7週：アジア談論の構造と再構成(4月19日)

担当：金俊(浙江工商大學)

8週：中間テスト(4月26日)

9週：『懲毖録』のリーダーシップと時代精神(5月3日)

担当：兪成善(江原大学)

10週：東アジアの政治と経済協力から共同体構想へ(5月10日)

担当：辛炫承(尚志大学)

11週：東アジアをどう理解してきたのかー東アジアと市民社会の役割(5月17日)

担当：李基原(江原大学)

12週 ドラマを通じて考える現代中国人の性と愛(5月24日)

担当：金汝珍(江原大学)

13週：東亞三國の相互認識(5月31日)

担当：聶友軍(浙江工商大學)

14週：アジア的寛容の問題ーインドを通じて考えるアジア的配慮と疎通の問題(6月7日)

担当：Sanjay Kumar(インドネール大学)

15週：期末テスト(6月14日)